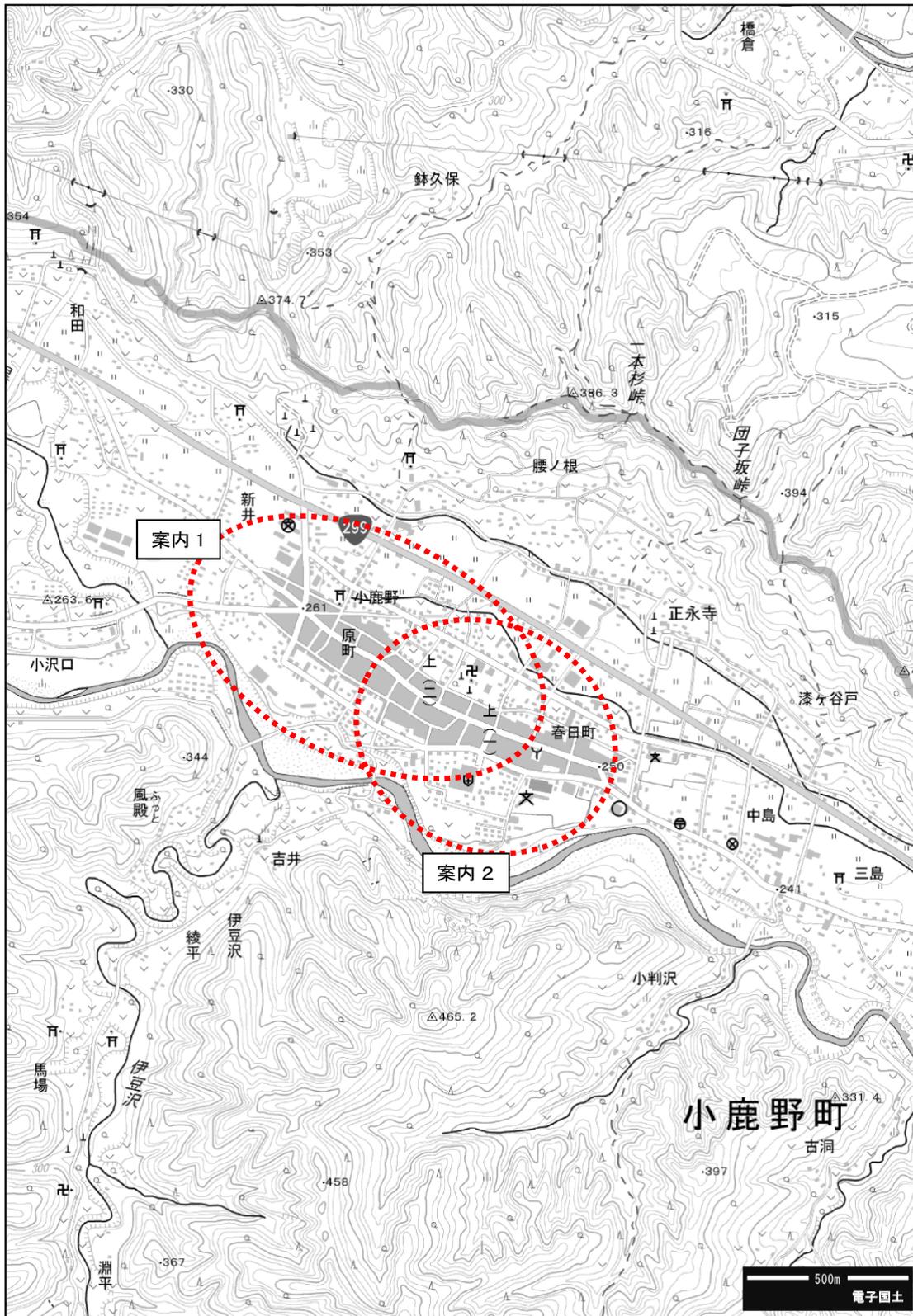


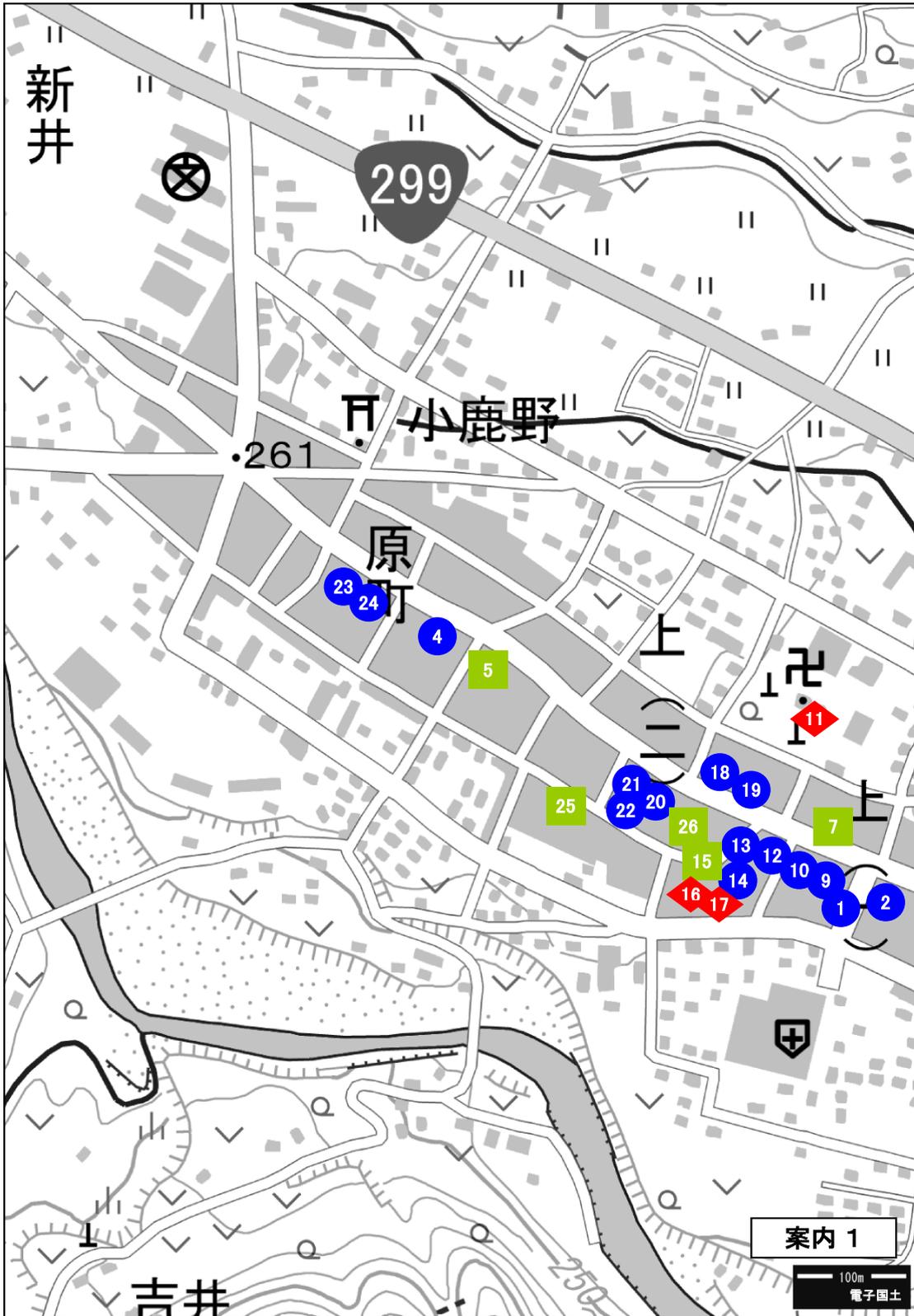
小鹿野



案内図

 調査範囲

小鹿野



凡例



史跡・寺社等

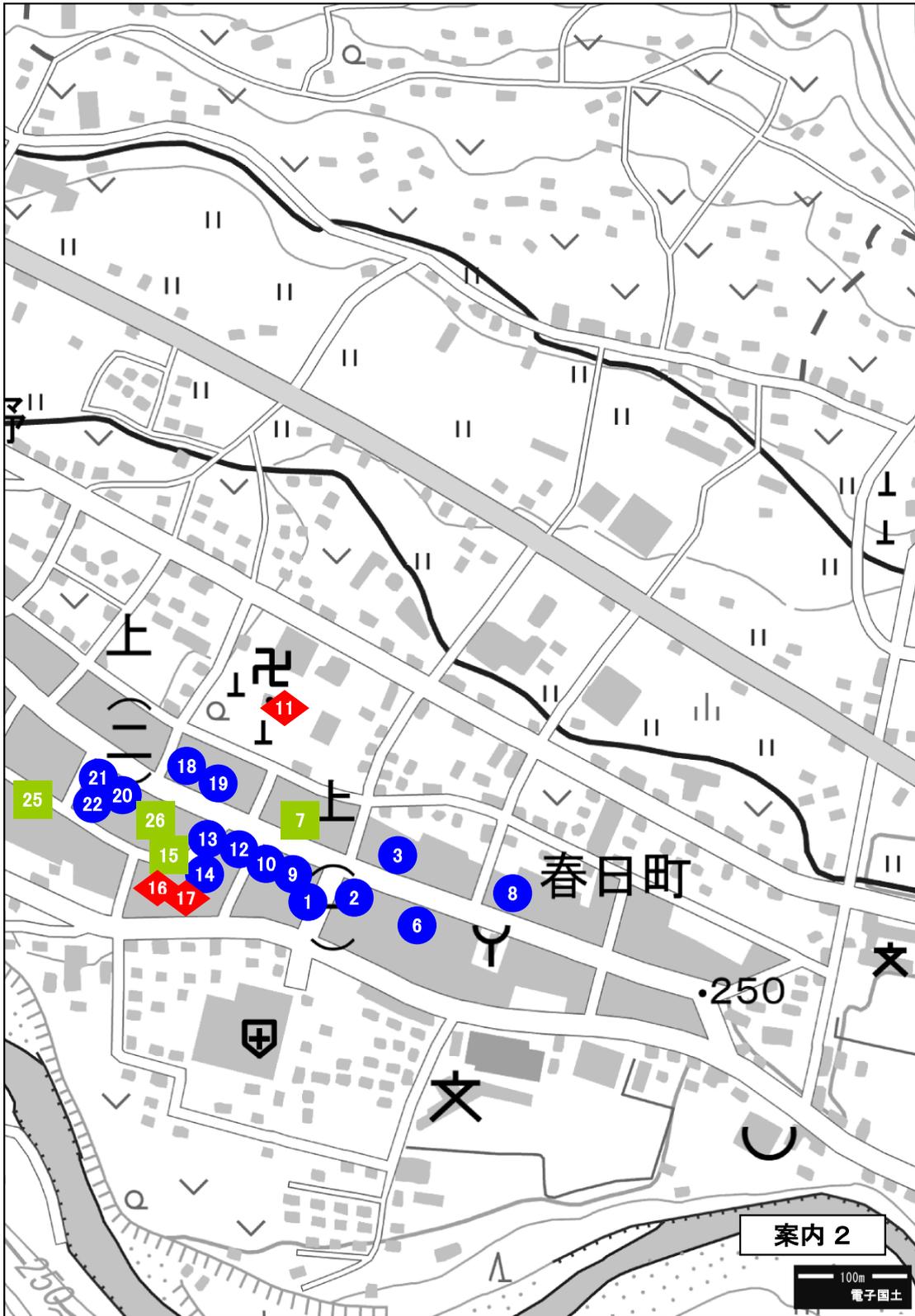


その他の建造物



通り・広場・樹木他

小鹿野



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

小鹿野



商店街に掲げられた歌舞伎絵図

小鹿野は西秩父の中心的な土地として位置している。往時は宿場町であったことや、近代では商業の町、生糸の町として栄えた。そのため、まちのあちこちに昔の佇まいを残す住宅や、当時の発展を窺える建造物や路地が街道沿いに多く現存しており、独特の雰囲気醸し出している。そして住民がそれらの財産を生かした“まちづくり”をしようと団結する心意気が感じられる。

(写真は小鹿野町上付近)

<p>1 蔵</p>	<p>2 蔵</p>	<p>3 旅館</p>
<p>町の名士加藤氏の像の建つ交差点。両脇には今も現役の蔵が建つ。新旧様々であるが、養蚕が栄えた往時を物語る蔵が多く点在する町である。</p>	<p>街道沿いは看板建築の化粧品店だが、奥を臨むと居宅や倉庫、蔵が敷地内に建ち並ぶ。明治時代に建てられた母屋も現存されているという。</p>	<p>創業1875年。幕末の豪商 山田源内の旧宅の旅館。日本棋院指定の宿で24時間打ち放題の対局部屋がある。隣は蔵を改装した写真館。</p>
<p>4 商店街</p>	<p>5 路地</p>	<p>6 店舗</p>
<p>この一角は七軒分、同じ間口で商家建築と看板建築が並んでいる。整然とした中に温かみや懐かしさににじみ、思わず足を止めたくなる。</p>	<p>小鹿野のまちなかは、趣のある路地がたくさんある。『路地St.』の事業が推進され、路地の魅力を生かしたイベントが行われている。また、小鹿野歌舞伎にちなんだパネルが至る所に飾られ、町を彩っている。</p>	<p>創業200年の老舗の羊羹店は現当主で9代目とのこと。老舗にふさわしい落ち着いた佇まいの建物。町名の鹿にちなんだ緑のパンビが出迎えてくれる。</p>

7	歌舞太郎	8	店舗	9	旧本陣寿旅館
					
<p>以前は造り酒屋であったが、現在は地酒メーカーを中心とした小売店に。小鹿野の町おこしに役かっている“バイク”と“歌舞太郎”が共にディスプレイされている。店内には歌舞伎のパネルや歌舞太郎の仲間が掲げられている。</p>		<p>大正13(1924)年創業の和生菓子店。煙り抜けの高窓と二階に掲げられた一枚板の看板が目を引く。</p>		<p>350年の歴史をもつ旅館。元は江戸時代の代官出役所として発足したといわれている。吊り天井、御座所、控えの間などを保存。現在旅館は町の所有。格子戸が美しく建具、一階隅のたばこ売り場の金文字の看板がレトロで素敵。</p>	
10	店舗	11	十輪寺	12	店舗
					
<p>酒店でありながら、元醤油店であった名残の看板が堂々と掲げられたままである。ファサードがとても立派であり、奥にも立派な蔵が並ぶ。この地でいかに繁栄を築いてきたかをうかがわせる。</p>		<p>小鹿野市街地の中心部で門前町の風情を色濃く残すところ。</p>		<p>現代的な景観の外観は隣家と街並みに調和する。</p>	
13	常盤屋	14	住宅	15	路地
					
<p>町指定有形文化財。養蚕や生糸の販売などで財を成した加藤恒吉邸。見上げれば整然と並んだ格子戸と高窓の堂々とした佇まい。屋号を常盤屋といい、春の小鹿野祭りにあわせて一般公開される。</p>		<p>大通りからふと目を向けると、常盤屋の脇に路地が延びている。立派な白壁のむこうに大きな武家屋敷門が現れる。この住宅は他の住宅が十輪寺正面に位置するため、対面する形で玄関を設けることを避け、脇道に設けたのだと言われている。</p>		<p>建具の美しい住宅の連なりにいざなわれてさらに奥へと路地を入っていくと、白壁の向こうにお不動様がある。常盤屋が成田から歓請したもので、そのことからこの路地は成田横丁と改められた。</p>	

16	お不動様	17	愛宕神社	18	警備詰所
			<p>随所に痛みが出てるが、それでも圧倒される程手の込んだ彫刻は実に見事。この地からの成田山詣が大変だということから歓招したという逸話に、当時の財力の高さをうかがわせる。</p>	<p>お不動さんの裏手に廻ると、広場と防火の神様である愛宕神社が現れる。かつてここには愛宕座という芝居小屋があり、後に映画館として小鹿野の人々の娯楽の場となった。</p>	<p>モルタル塗りの建物に空色のサッシがかわいらしい。こじんまりとしながらも、見過ごせない存在感。</p>
19	病院	20	店舗	21	夢鹿蔵
			<p>小鹿野町バス停前の木造洋館建築の医院。外壁が時間の経過を物語る。</p>	<p>蔵を囲む柵は馬を留める為に手綱を繋げるようになっている。先の戦争で供出したため、現在は復元したものである。</p>	<p>旧埼玉銀行の蔵。1896年に建築され、かつては生糸と繭の保管庫として使われていた。1999年に小鹿野町観光商業情報館としてオープンし店内には食事処と地の産物の販売、及び小鹿野歌舞伎展示室がある。</p>
22	店舗	23	店舗	24	店舗
			<p>屋根ののし瓦、棟瓦の美しさに目が釘付けにされる。七宝模様に瓦が組まれ、向こうの空が透けて見える意匠の見事さは、往時の栄華を少し覗けた気持ちになる。</p>	<p>古い街並みが続く界隈で珍しいコンクリート打放しの商店。</p>	<p>さわやかな明るい笑い声が聞こえてくるような店構えが賑やかな酒店。看板に書かれた『商いが好き』との口上にこのお店の心意気が感じられる。</p>

25	朝日通り	26	小鹿野歌舞伎
			
<p>表通りから一本南に入った裏通り。朝日通りと名付けられている。古い民家が密集している界隈で日常的に人々の温かみが身を覆う。名物わらじカツ丼発祥の名店があるのもこの通り。</p>	<p>商店街のそこかしこに、小鹿野歌舞伎の絵図、パネルが貼られていて華やか。200年前から伝えられる『小鹿野歌舞伎』は、現在も一年を通して町の様々な場所で公演されている。</p>		